

## 授業記録

授業日時	平成 24 年 3 月 2 日 (金) 第 4 限	学部・学年	中学部 2 年								
教科・単元など	家庭科 コンピューターの利用										
単元・題材の目標	コンピューターを活用し、自作カレンダーを作成する。										
授業場所	■本校 □国立 □府立 □京大 □ニ赤										
	□普通教室 □PC 教室 ■特別教室〔家庭科室〕 □体育館 □その他〔 〕										
授業タイプ	□クラス共有 □グループ共有 □遠隔 ■制作 □交流 □収集 □習熟 □その他〔 〕										
ICT 活用の場面	□導入 ■展開 ■まとめ										
ICT の活用者	□教員のみ □児童生徒のみ ■教員・児童生徒とも										
IWB・PC の活用	教員の活用 ■有り □無し					児童生徒の活用 □有り ■無し					
		5	10	15	20	25	30	35	40	45	50
	教員										
TPC の活用	教員の活用 □有り ■無し					児童生徒の活用 ■有り □無し					
		5	10	15	20	25	30	35	40	45	50
	児童生徒										
協働教育 AP 活用 ■利用なし	□①画面操作転送 □②ロック機能 □③画面共有 Skymenu										
	□④資料共有 □⑤資料の協働編集 □⑥アドバイス機能 コラボノート										
その他活用機器 ■利用なし	□⑨プロジェクタ □⑩実物投影機 (OHC・書画カメラ)										
	□⑪ビデオカメラ □⑫デジタルカメラ □⑬プリンター										
□⑭インターネット □⑮CD-ROM □⑯DVD-ROM											
□⑰その他〔 〕											
活用コンテンツ	Word										
ICT 支援員の支援	■フル支援 □ポイント支援										

### 【授業の流れ】

	指導内容	指導ツール
導 入	Word を使って、自作カレンダー作成。 カレンダーの雛形を IWB で提示し、作成手順を説明する。	IWB
展 開	カレンダーの雛形を学習系サーバーから各自の TPC にコピー。雛形を元に自分の考えたデザインに作り変える。	IWB TCP (Word)
まとめ	本時の時間いっぱい作成作業を行う。 完成できなかった箇所は次時に続きを行う予定。	IWB TCP (Word)

### 【備考】

カレンダーは Word のクイック表作成の機能、挿入する写真はクリップアートを利用した。特に TPC に高負荷がかかるような使用方法ではないと思われるが、操作上の遅延が頻発した。

導入された TPC はビジネスアプリの操作にはあまり適しておらず、緻密なマウス操作が必要な場面では、スライラスペンやパッドの操作でも使いづらそうにする生徒が見受けられる。

【画像による記録】

画像	説明
	<p>IWB に先生が考えたカレンダーの雛形を提示している様子。</p> <p>これをそれぞれの生徒が、自分の考えたデザインに作り変えてゆく。</p>
	<p>作業中の風景。</p>
	<p>作業中の手元の様子。</p>